

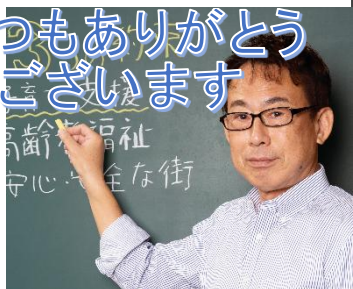
しんじ新聞

No. **754**

2026年 7月
品川区議会議員
無所属
高橋 しんじ

※毎週、区政や区内の出来事についてご報告して居ます

いつもありがとうございます
ごぞいます



☆☆品川区イス 754☆☆

◇学校改築◇

品川区では小中学校の改築工事が進行しています。8年度は、設計予定の学校と工事中の学校を合わせて何校でしょうか。

- ① 1校
- ② 3校
- ③ 5校
- ④ 7校



鈴ヶ森小学校(イメージ)

◎難易度☆☆☆

6回でマスターする 令和8年度 予算特別委員会 質疑 ⑥ 第6回 歳出 教育費

☆区立幼稚園・小中学校教育、図書館運営等
昨年度比 15.7%増

◎331億8,445万円
歳出の14%

Q:《教員の休職》

- ①教員の精神疾患などによる休職者数の推移は。
- ②若手教員へのサポート体制は。



A: ①令和3年度から6年度にかけて増加傾向であった。3年が15件、4年が24件、5年が39件、6年が53件。今年度(7年)は12月末時点で43件。依然として、病気休職、病気休暇に関わらず、メンタル的なことが要因の教職員が多い。

②3年前からメンター制度ができた。心の支えになる教員を校内に作り、若手教員と経験ある教員がタッグを組んで健康面をサポートしている。

☆教員数は小学校・義務教育学校前期課程が約1,000人、中学校・義務教育学校が約400人です。制度を整えるだけでは十分ではありません。教員が安心して働ける学校づくりにつながっているかが問われています。今後も教育委員会に提案していきます。

Q:《大谷選手からのグローブ》

全国の小学校に贈られた。区立小学校では、現在どのように使われているか。大谷選手の思いをくみとって、もう少し活用を。ある幼稚園の卒園式で「小学校で頑張りたいスポーツ」としてサッカーしか出ず、野球がゼロだった。本当にショックだった。

A: 当初は、キャッチボール等で使用したという報告も受けた。貴重なものなので展示しているという学校もある。子どもたちに使ってもらいたいという本来の趣旨から学校への周知徹底をしていく。

☆全国に約6万個贈られました。



高橋しんじプロフィール

2023年5522票のご支持を頂き、現在5期目。若草幼稚園、品川区立鈴ヶ森小・中学校、早実高、早大(政経学部政治学科 専攻は地方行政)・同大学院博士課程。東大研究員、塾などを経て、教師(早実高、都立日比谷高・青山高・大森高)。軟式野球ルーキーズ監督。2007年初当選2541票、2011年5232票、2015年5551票、2019年6205票(史上最多)。『議員力検定1級』合格。

☆初心を忘れずにガンバります!

しがらみのない無所属



高橋しんじ 事務所

品川区東大井 4-13-11-304 〒140-0011
TEL:03-5461-8757 FAX:03-5461-8763
E-mail: takahashi-shinji@spa.nifty.com
ホームページ: 品川区 高橋しんじ 検索

- ☆過去の『区政報告』がHPでご覧になれます。
- ☆『区政報告』への感想をぜひお寄せ下さい。
- ☆『区政報告』をお店の片隅に置かせて下さい。



区政報告

No.754 2026年 7月

発行者 高橋慎司

〒140-8715 品川区広町 2-1-36 4階

Tel 03-5742-6864

☆区政へのご要望をお寄せ下さい！！
☆ご希望の方に『区政報告』をお届けいたします(送料は当方で負担します)

Q:《区立中の中学生の主張》

昨年12月の「品川区中学生の主張大会」で区立中の8年生(中2。当時)が「無償化は保護者支援として大切だが、何でも無償化されればいいとは思わない。例えば、何でも無料では物を大切にする意識が薄れ、学用品の無償化は、まだ使える学用品が廃棄される」と指摘。支援と物を大切にする気持ちを両立する制度を提案し、奨励賞を受賞しました。無償化は保護者負担軽減になるが子どもの学びという視点でどう考えるべきか。物を大切にする心は、どう育むのか。

A: この文集を読んで大きな衝撃を受けた。貴重な指摘を頂いた。無償化事業が開始されてから、様々な課題も出てきているので共通物品の備品化(=公費で購入し、貸し出し制にする)も含めて、物を大切にする心を育むためにきちんと考えていかなければならないと思う。一方で、何でも物を粗末に扱うということは、無償化の政策から生まれると思っていない。学校では、指導している。

◎補助教材費保護者負担軽減事業

5億2,148万円
標準服購入費用保護者負担軽減事業

1億5,700万円

☆私が最も印象に残ったのは、「何でも無償ならよいわけではない」と中学生自身が考え、改善策まで提案していたことです。支援の充実が必要ですが、同時に物を大切にする心も

クイズの答え: ④7校。()は予算額。第四日野小(西五反田。86億円)。浜川中(東大井。91億円)。城南第二小(東品川。95億円)。源氏前小(中延。89億円)。鈴ヶ森小(南大井。100億円)。浅間台小(南品川。85億円)。東海中(東品川。※設計2億5千万円)。区立学校46校のうち未改築校は18校あります。今後も多額の工事費用が必要です。財政運営をしっかりと!



くや感謝の気持ちを育むことも教育の大切な役割です。大人が制度をつくるだけでなく、子どもたちの声から学ぶことも大切です。この提言を今後の区政や学校教育に生かしていきたいと思います。『第25回品川区中学生の主張大会文集』はネット上で公開されています。

Q:《改築中の学校のプール授業》

8年度は、城南第二小(南品川)が品川学園、鈴ヶ森小(南大井)が八潮学園、ともにバスで移動して行く。源氏前小(中延)は調整中と聞く。源氏前小の近隣には屋外だが3つの小学校がある。そこを活用しては。

A: これまで屋外プールの学校で共同利用していたが、移動時間と暑さが課題と学校から聞き、8年度は伊藤学園の開閉式屋根付きプールの利用を検討中。



Q:《学びの多様化学校》

不登校の児童生徒が約800人以上いる。多様な学びの学校は不登校支援校のマイスクールと異なり、正規教員がいる。令和10年に開設予定と聞く。8・9年度の検討状況は。

A: 8年度は開設場所をどこにするのか、と対象学年の整理をする。都には8年の6月頃までに情報提供をする、文部科学省へは、開設の1年前をめどに、9年2月に設置に向けた調査が行われる予定なのでその時までに形を整える。新しい学校の建物の設置ではなく、分教室型を検討する。区民へ周知のタイミングは8年度中に検討する。

☆ずっと設置を求めて来ましたがやっと実現します。6年度の不登校は、小学校397人、中学校415人。また、マイスクール利用は88人。不登校対策はとても重要な課題となっています。

【注】 学びの多様化学校 = 不登校児童・生徒の実態に配慮して、特色ある教科を新設したり、総授業時間数を削減したりするなど、特別の教育課程を編成して教育を実施している学校。一般の小・中学校と同じく卒業資格を得ることができる。全国で84校、都内には13校(公立は10校でほとんど中学校)。なお、分教室型は、学校内の別教室や地域の図書館等に設置する学校。

朝、駅前にいます! 月・水 JR大井町駅前

◎『区政報告』をお配りしています。火 京急青物横丁駅前

◎議会等の事情で変更する場合があります。木 JR大森駅前

◎見かけたらお気軽にお声をおかけ下さい。金 京急立会川駅前

☆各 7:00-9:30頃